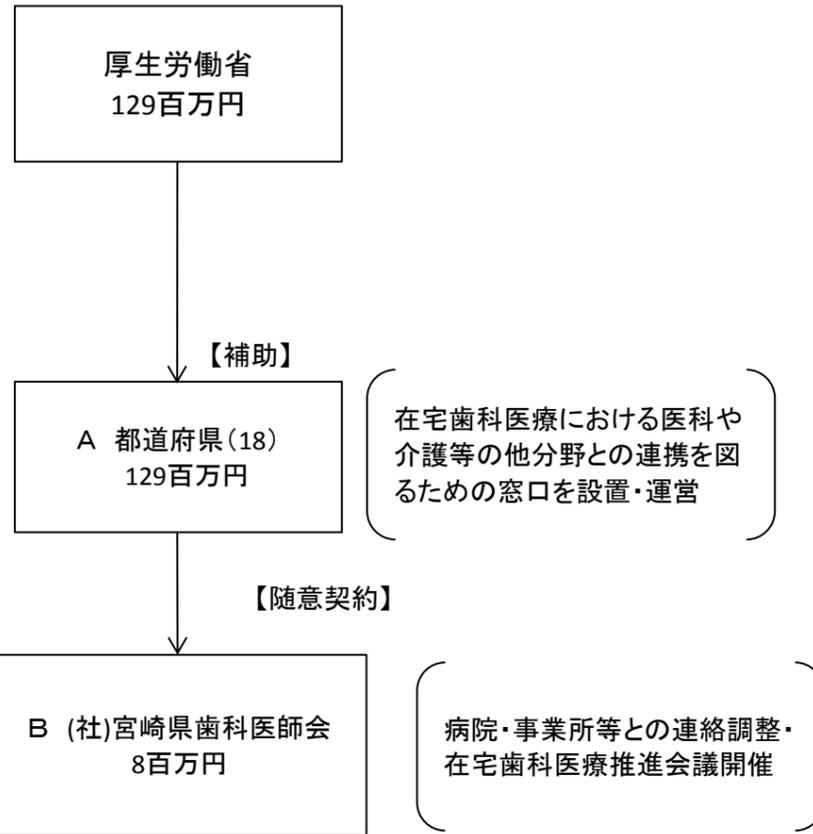


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	在宅歯科医療連携室整備事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	歯科保健課		課長：上條英之	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成15年4月4日医政発第0404001号「歯科保健医療対策事業の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	住民や在宅歯科医療を受ける者・家族等のニーズに応え、地域における在宅歯科医療の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県が地域において医科・介護等連携の窓口となる組織(在宅歯科医療連携室)を設置し、他職種との連携体制を構築するなど、在宅歯科医療を推進するために行う事業の補助。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算			270	225	
		繰越し等					
		計			270	225	
	執行額			129			
	執行率(%)			47.8%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	各都道府県における在宅歯科医療連携体制の確保が成果目標であり、これは定量的な実績として示せるものではない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	在宅歯科医療連携室の整備実績		活動実績(当初見込み)	—	—	18	—
					(33)	(33)	
単位当たりコスト	6,751,889(円/件)		算出根拠	22年度執行額/22年度補助件数			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	補助金	225	0	「医療提供体制推進事業」に統合			
計	225	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予算の執行状況を踏まえ、平成23年年度は予算を減額したところであるが、今後も執行状況等を踏まえて、事業の内容や予算について改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>本事業の必要性は認められるが、執行状況が低調なこともあり、更なる予算の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補助先である都道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを推進することにより、更なる予算の効率化を行う。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.宮崎県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	在宅歯科診療連携室の整備委託	8			
計		8	計		0
B.(社)宮崎県歯科医師会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	連携室従事者	6			
旅費	連絡調整訪問旅費	1			
機器購入費	デンタルカメラ	1			
その他	会議費、借料	0			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮崎県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
2	福島県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
3	和歌山県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
4	福岡県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
5	徳島県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
6	香川県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
7	愛媛県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
8	青森県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
9	山梨県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-
10	高知県	在宅歯科診療連携室の設置・運営	8	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)宮崎県歯科医師会	病院・事業所等との連絡調整・在宅歯科医療推進会議開催など	8	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					